

第9章 インターネットによる人権侵害について

(1) インターネットに関する人権侵害

問 24. インターネットによる人権侵害の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇印はいくつでも)

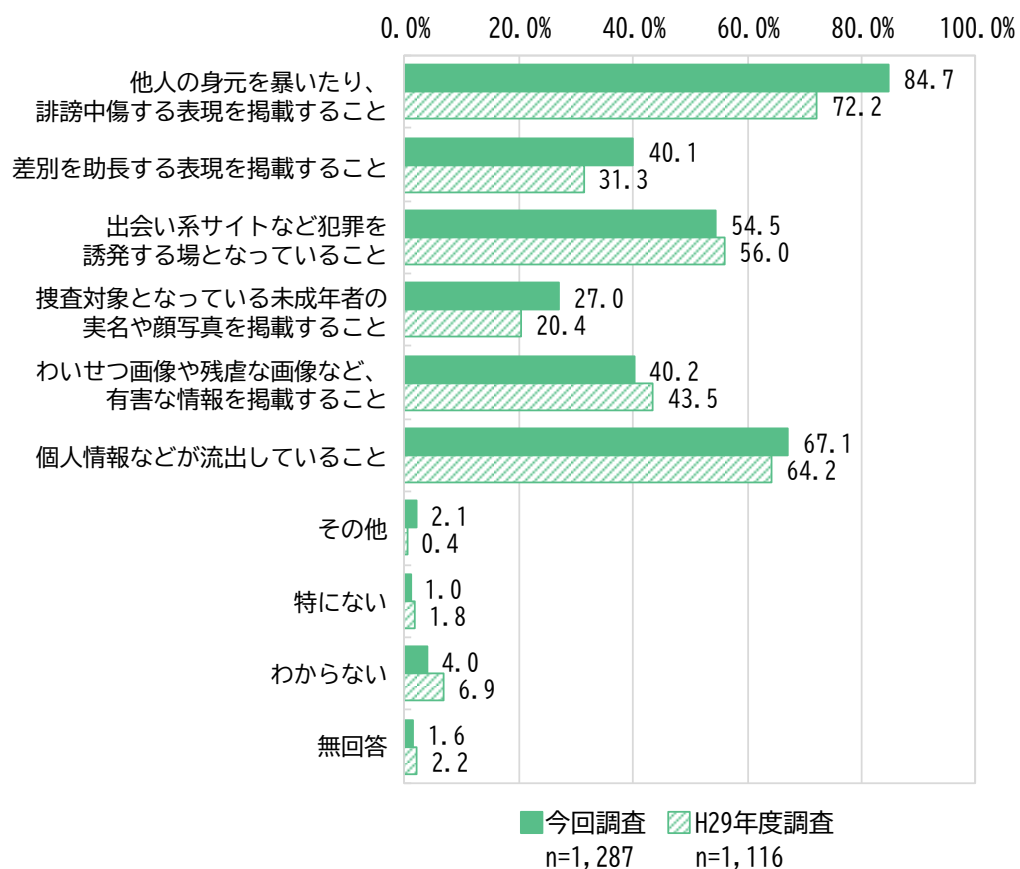
➤ 全体

「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が 84.7%で最も多く、次いで「個人情報などが流出していること」が 67.1%、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が 54.5%となっています。

➤ 平成 29 年度調査との比較

今回の調査では、「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」「差別を助長する表現を掲載すること」が平成 29 年度調査よりも 10 ポイント程度多くなっています。

図 9-1 インターネットに関する人権侵害



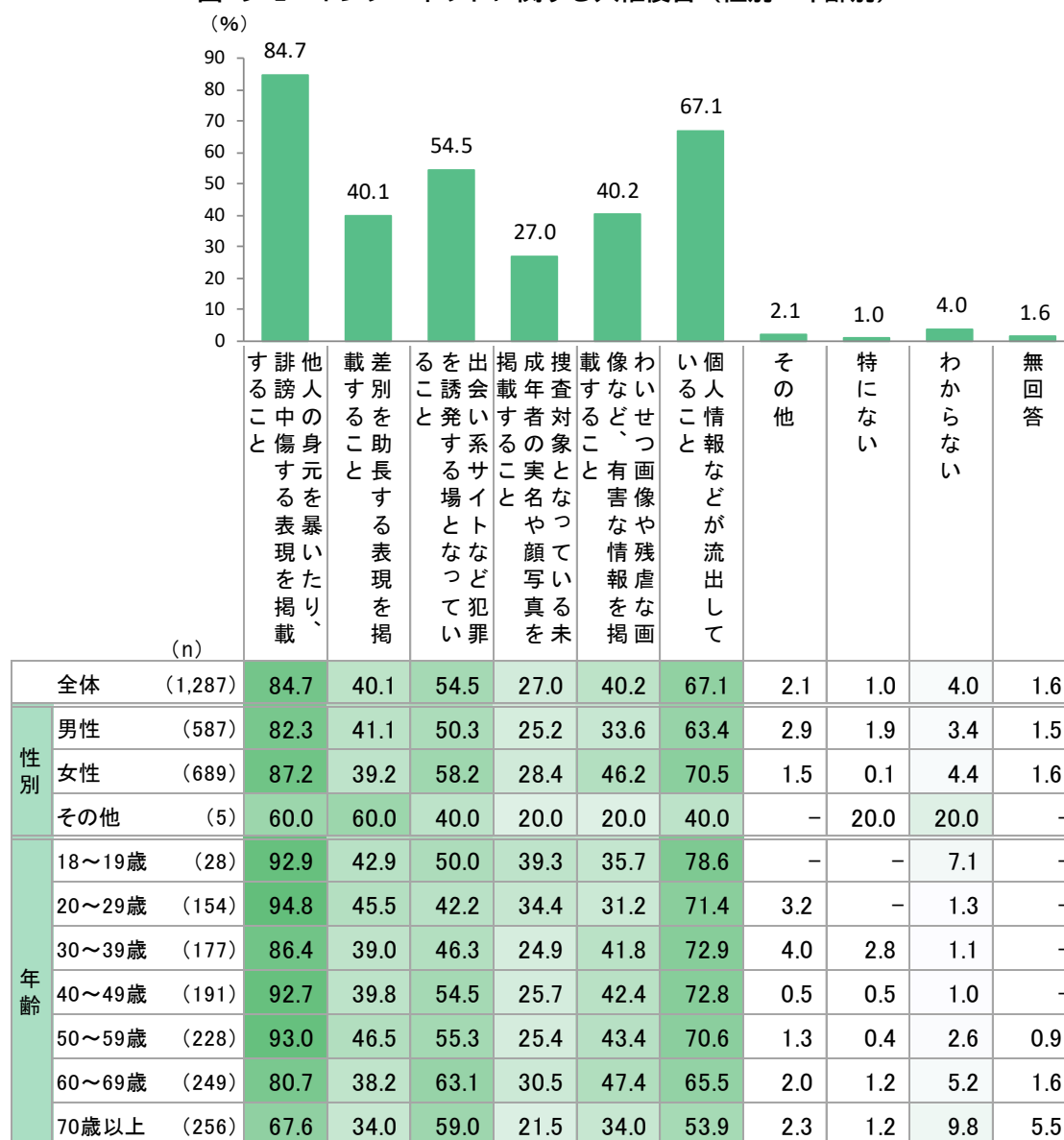
➤ 性別

“女性”で「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が58.2%、「わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること」が46.2%と、“男性”より多くなっています。

➤ 年齢別

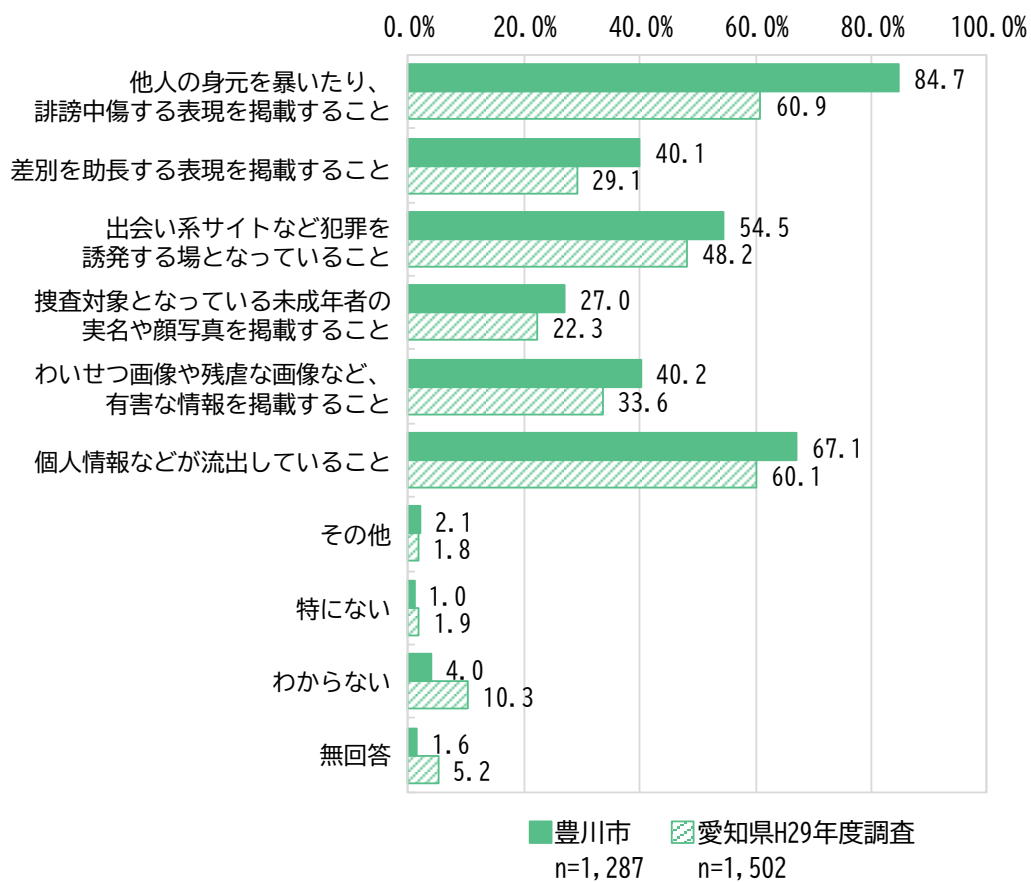
“18～29歳”“40～59歳”で「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」(92%以上)、“60歳以上”で「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」(59%以上)が、他の年齢層よりも多くなっています。

図 9-2 インターネットに関する人権侵害（性別・年齢別）



➤ 参考 平成 29 年度愛知県調査との比較

図 9-3 インターネットに関する人権侵害（平成 29 年度愛知県調査との比較）



(2) インターネットによる人権侵害を発見したときの対応 ……………

問 25. インターネット上で人権侵害と思われるような情報を発見したとき、あなたはどのようにしますか。(○印は1つ)

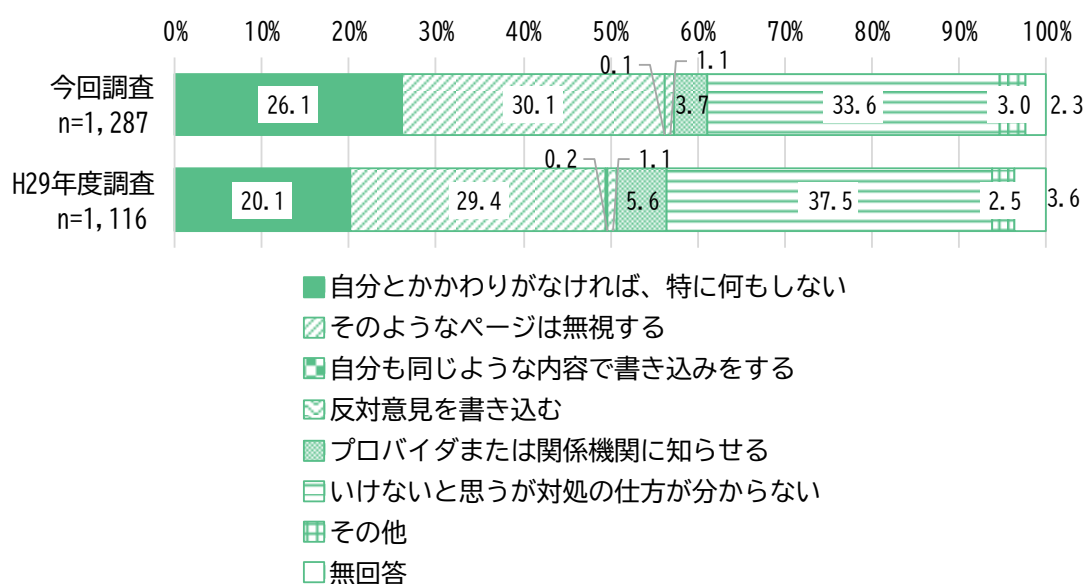
➤ 全体

「いけないと思うが対処の仕方が分からない」が 33.6%で最も多く、次いで「そのようなページは無視する」が 30.1%、「自分とかかわりがなければ、特に何もしない」が 26.1%となっています。

➤ 平成 29 年度調査との比較

今回の調査では、「自分とかかわりがなければ、特に何もしない」が平成 29 年度調査よりも多くなっています。

図 9-4 インターネットによる人権侵害を発見したときの対応



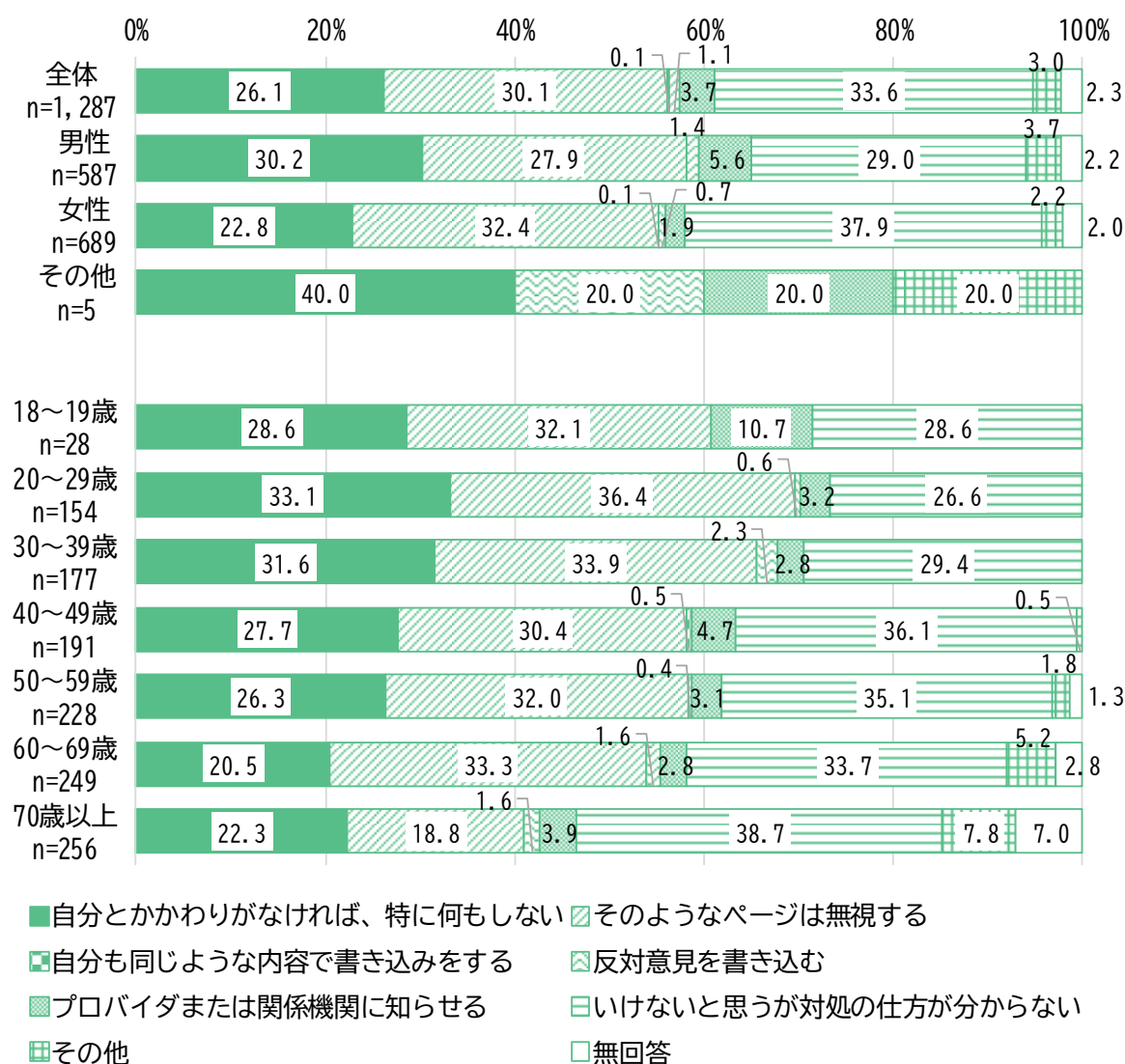
➤ 性別

“男性”で「自分とかかわりがなければ、特に何もしない」が30.2%と、“女性”より多くなっています。一方“女性”では、「いけないと思うが対処の仕方が分からない」が37.9%と、“男性”より多くなっています。

➤ 年齢別

“20～39歳”で「自分とかかわりがなければ、特に何もしない」(31%以上)、“18～19歳”で「プロバイダまたは関係機関に知らせる」(10.7%)と、他の年齢層よりも多くなっています。

図 9-5 インターネットによる人権侵害を発見したときの対応（性別・年齢別）



(3) インターネットによる人権侵害を防ぐために必要なこと ……………

問 26. インターネットによる人権侵害を防ぐためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇印はいくつでも)

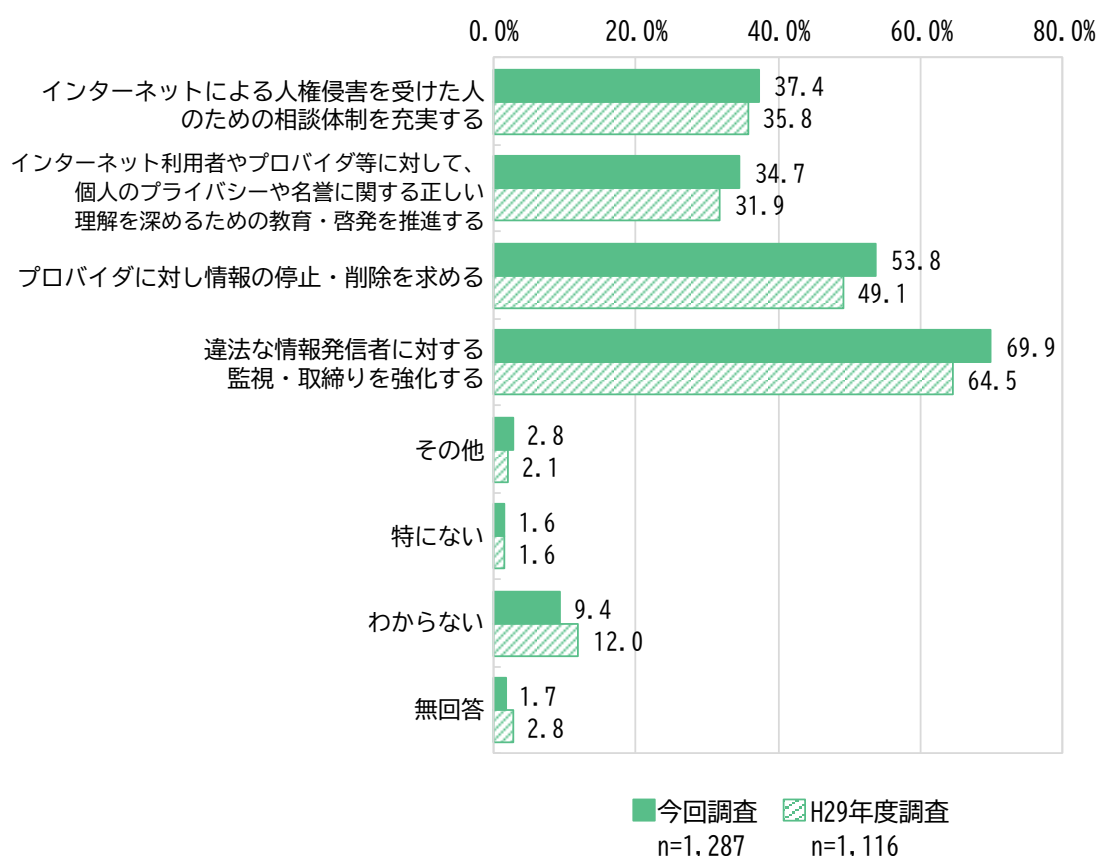
▶ 全体

「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が69.9%で最も多く、次いで「プロバイダに対し情報の停止・削除を求める」が53.8%、「インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する」が37.4%となっています。

▶ 平成 29 年度調査との比較

今回の調査では、「プロバイダに対し情報の停止・削除を求める」「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が平成 29 年度調査よりも多くなっています。

図 9-6 インターネットによる人権侵害を防ぐために必要なこと



➤ 性別

“女性”で「インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する」が41.8%、「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する」が39.2%と、“男性”より10ポイント程度多くなっています。

➤ 年齢別

“50～59歳”で「プロバイダに対し情報の停止・削除を求める」(65.8%)、“40～59歳”で「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」(76%以上)が、他の年齢層よりも多くなっています。

図 9-7 インターネットによる人権侵害を防ぐために必要なこと（性別・年齢別）

